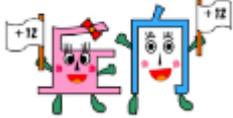


かけはし

川崎市立向丘小学校
 学校便り3月号
 R7.2.28



創立140周年記念
 キャラクター
 (152バージョン)
 むかちゃん おかちゃん

「向小を支えてくれて ありがとう集会」から

校長 大曽根 実

2月27日(木)の朝、6年生がつかう東階段には、きれいに飾り付けがされていました。登校する6年生からは「すごい」の声や、柔らかな笑顔で見上げる様子が見られました。3、4時間目には「向小を支えてくれて ありがとう集会～最古の学校で 最後に 最高の思い出を～」が開かれました。4月に1年生を迎える集会を行い、今回は6年生からのバトンを受けとる集会です。集会の企画



は代表委員会で行いました。進行や装飾を分担しました。階段の装飾も代表委員の児童によるものです。6年生にはできるだけシークレットで、5年生が中心となり準備を進めてきました。6年生が学年集会をしている裏で、1～5年生のふれあい班(縦割り活動のグループ)で集まり、全校の児童が6年生一人一人に向けてお手紙を書きました。集会の中で、サプライズで6年生に送られました。計画の中心は5年生ですが、1年生はエスコート、2年生ははじめの言葉、3年生はおわりの言葉、4年生は花のアーチと、全学年が運営に携わっています。学年ごとの出し物は、

1年生—できるようになったことを楽しく伝えました。「お兄さんお姉さん大好き」というメッセージに涙を見せる6年生もいました。

2年生—スイミーの寸劇やエールダンスに合わせて感謝の気持ちを込めたメッセージを贈りました。トップバッターでしたが緊張を乗り越えて頑張りました。

3年生—運動会で披露したいーじゃんダンスを踊りながら、次から次へと6年生へのありがとうの気持ちやおめでとうの気持ちを届けました。

4年生—1～4年生時代の担任の先生方のインタビューから、思い出を呼び覚ますようなクイズを出しました。元担任の先生からメッセージもいただきました。

5年生—5年生は、6年生から向丘小学校を受け継ぐ覚悟を込めたエールや歌で、メッセージを贈りました。一人一人の表情に力強い思いを感じました。

6年生—各学年の思いを受け、頑張ってきた思いや送りたいメッセージ、みんなを信じてる気持ちやありがとうの気持ちを、たたみかけるような勢いをもって贈ってもらいました。食い入るように見つめ聴いている在校生の姿が、これまでの6年生の歩みを表しているようでした。



集会全体の温かい空気感を創り出したのは、先輩たちから「学校を支える」姿をつないできた6年生、そこを目標に毎日成長を続けた5年生、さらにその姿を見ている1～4年生、それぞれの思いは少しずつ違ってもかもしれませんが、「自分も大切に、友達も大切に、そして、様々な集まり(集団)を大切に」してきた、向丘小学校のつながりが支えているのだと思います。これが「向小魂」です。子どもたちの成長を支えているのが「大人の向小魂」です。いずれも、物事を自分のこととして考えるという格の高い心持ちの結晶だと思います。この無形文化財レベルのつながりを、大切にする一員でありたいと決意を新たにしました。